

# ハイライトよねやま 112

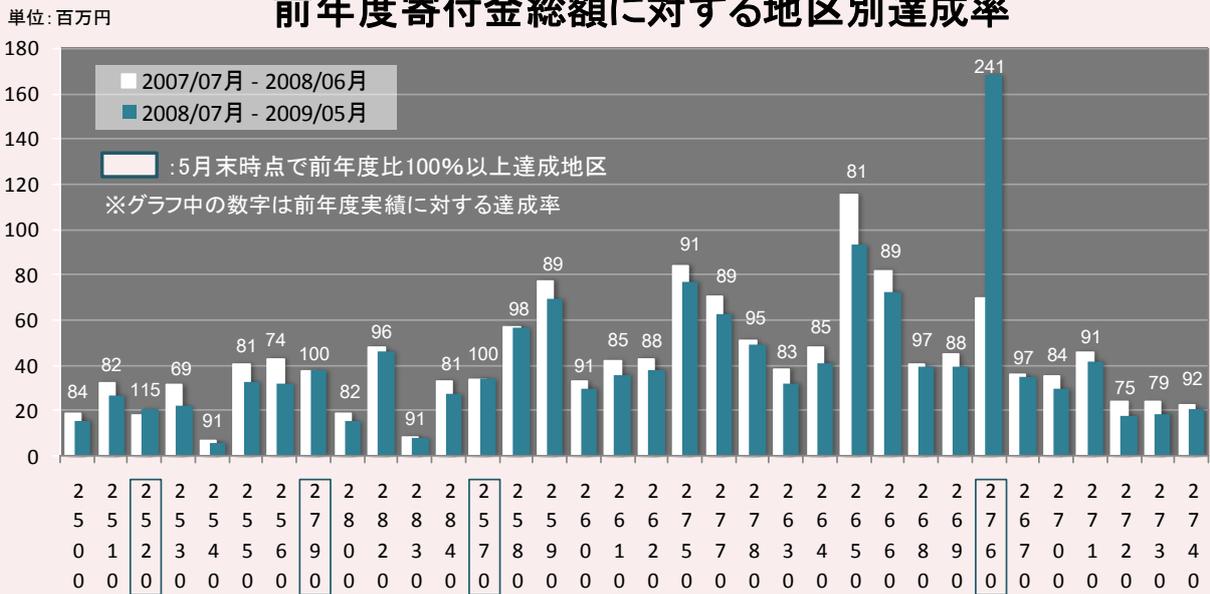
(財)ロータリー米山記念奨学会  
2009年6月12日発行

## 1 寄付金速報 — プラス幅がさらに減少 —

5月までの寄付金は、前年同期と比べて3.72%増、約5千万円の増加となりました。普通寄付金が1.12%減、特別寄付金が6.01%増ですが、先月に引き続き、前年同期比のプラス幅がさらに1,500万円減少しました。

今年度も残りあと1カ月を切りました。まだ普通寄付金を納入されていないクラブは速やかにご送金ください。普通寄付金・特別寄付金ともに**6月30日(火) 当会口座入金分**までが今年度の寄付実績となります。今年度最後のご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 前年度寄付金総額に対する地区別達成率



## 2 米山奨学生の博士号取得状況

今年も卒業式を終えた学友から、博士の学位を取得したとの報告が続々と届いています。2008学年度(2008年4月～2009年3月)に博士号を取得した学友は56人、累計では3,123人です(6月9日現在)。博士号取得者には、米山記念奨学会からお祝いの腕時計をお贈りします。世話クラブ・カウンセラーの皆様からも是非ご報告いただきますようお願い申し上げます。



### ？ 米山奨学生・学友が博士号を取得したら…?

「学位記」か「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へ FAX してください(FAX: 03-3578-8281)。既に学友となっている方も対象です。※記念品は国内のみの発送となります。

### 新しいDVDのご案内

米山記念奨学会では新しいDVDを7月31日に発行します。今回のDVDは、巣立った元米山奨学生たちが今、世界でどんな活躍をしているかに焦点を当てた内容です。3月に設立された中国学友会初代会長・姫軍<sup>シマツク</sup>さんや、台湾の故宮博物院前院長・林曼麗<sup>リンマンレイ</sup>さんなど、顕著な活躍を続ける5人の学友が登場します。昨年発行の事業紹介DVD『すばらしい贈り物』と合わせて、ぜひクラブの例会などで上映ください。ご希望のクラブには無料でお送りします。米山奨学会事務局までお申し込みください。



### 3 理事会・評議員会開催報告 —2009 年度事業計画・予算決定！—

2009年6月1日に2008年度第2回評議員会、翌2日に2008年度第2回理事会が、それぞれメルパーク東京にて開催されました。

**評議員会** 全国から47名の評議員と、常務理事、監事および島津久厚名誉理事長の9名が出席。議長には、互選によって櫻井権司評議員（第2580地区ガバナー）が選出されました。

#### 【主な評議員会決議】

- 理事・監事選任：監事候補者3名および2009-10年度ガバナーから推薦された理事候補者35名が異議なく承認された。
- 2008年度予算修正案、2009年度事業計画案および収支予算案：それぞれ原案通り承認された。
- 評議員会終了後の意見交換：試行が終了した現地採用奨学金制度や奨学期間が半年の採用事例について意見が出されたほか、奨学事業の広報について提案がなされた。

**理事会** 理事27名と監事3名および島津久厚名誉理事長が出席し、議長の板橋敏雄理事長の進行のもと、評議員会の承認を得た上記bが理事会でも承認されたほか、以下が決定されました。

#### 【主な理事会決議】

- 2009年度評議員選出：各地区から推薦された68名の評議員を選任。
- 2010学年度採用数：2008年度寄付金収入予測により2010学年度採用数は前年同様の800名（枠）とし、地区別割当数、募集要項が決定された。また、国・地域による応募資格制限の廃止や、クラブ支援奨学金の範囲拡大も決定された。なお、寄付行為第3条「目的」の記載について意見が出され、次回理事会議案とすることが確認された。
- 理事会終了後の意見交換で、板橋理事長が今年度発行DVDの活用をクラブに働きかけるよう述べたほか、ホームカミング制度や学友会の活性化について意見が出された。

両日とも会議開始前に、ホームカミング制度で来日した金<sup>キム</sup> 玄<sup>ヒョンファン</sup> 勲さん（韓国／1996-97／大宮南西RC）のスピーチがありました。養護施設で育った幼少期の苦しみ、米山奨学生となって留学の挫折から救われ、現在は人々の幸せのため、社会福祉に人生の全てをかけて取り組んでいると語り、会場は深い感動に包まれました。

### 4 毎月1万円寄付で累計40万円の功労者表彰 — 田 鎬鎮さん —

横浜鶴峰RC（第2590地区）の例会で5月30日、米山学友の田<sup>ジョン</sup> 鎬<sup>ホジン</sup> 鎮さん（韓国／1992-94年／横浜鶴峰RC）の表彰式が行われました。田さんは、米山奨学事業がかつて、“月に煙草1箱を節約して”を合い言葉に募金を推進した話に感銘を受けて以来、実際に禁煙したお金を毎月1万円、米山記念奨学会へ寄付しつづけ、今年3月には累計40万円（第4回米山功労者マルチプル）を達成しました。



表彰を受ける田さん(左)

表彰式では、米山奨学会の板橋敏雄理事長が祝辞を述べ、感謝状を田さんに手渡しました。同地区の清水良夫ガバナー、中山義之米山奨学会理事、鈴木憲治地区米山奨学委員長のほか、田さんの元カウンセラーや米山学友ら多数のゲストも祝福に駆けつけました。

田さんは、「親族の戦争体験から、かつての私は日本に対してわだかまりがあり、留学を終えたらすぐ帰国しようと思っていた。実際に日本で暮らし、親切で誠実な国民性に驚き、心惹かれながらも、どこか素直になれなかった。しかし、留学中の苦しい時期を支えてくれた日本人の親切さ、ロータリーの皆さんとの出会いが私を変えてくれた。私の夢である日韓両国でのビジネス展開を目標に、日本と韓国の友好のために力を尽くします」と、感謝を込めて語りました。